

Q-1でナイス探究賞を受賞

昨年度、iC 理数探究 I の情報分野で「自律型階段降下ロボット」をテーマに研究を行った3年生のグループが、朝日放送「Q-1 U-18が未来を変える★研究発表 SHOW」でセミファイナリスト16組に選ばれ、「ナイス探究賞」を受賞しました。

さらに、「Q-1～未来を変えるU-18が集結！探究に青春をかける高校生たち～ひと夏に完全密着」というテレビ番組の密着取材も受け9月に放送されました。

このグループが行った研究は、「先輩たちの研究内容を引き継ぎ、どのような機構が階段を降りながら清掃するのに適しているのかを考え、「LEGO MINDSTORMS EV3」を使用して自律型の階段降下ロボットを製作する」というものです。

メンバーで協力し合ってトライ&エラーを繰り返しながら研究に取り組んできた成果が認められて嬉しかったようです。



【生徒の感想】

- ロボットが完成するまでに様々な課題がありましたが、グループの仲間と共に試行錯誤しながら一つ一つ解決していくことができました。部活や勉強もがんばりながら放課後まで残って研究を進めてきました。今回の受賞で自分たちのがんばりが認められてうれしかったです。
- これまで約1年半かけて今回の研究発表に取り組んできましたが、このような形で我々の努力が認められ非常にうれしく思います。研究を進めていく中で多くの困難にぶつかってきましたが、仲間と協力して乗り越えてきたことで、分野の能力を高めるだけでなく、絆も深めることができたと思います。私たちが今回「ナイス探究賞」を頂くことができたのも、これまでご協力いただいた先生方のお力あってこそだと感じています。これまでありがとうございました。
- テーマ決めから「Q-1」での発表まで様々な苦難がありました。しかし、この大会で良い成績を収めることを目標にして、チーム全員で努力してきました。その結果、「ナイス探究賞」を受賞することができてよかったです。
- 約1年半かけて研究を行っていく中で、考えた構造が上手く動作しないことや壊れやすいということがありハード面での苦労がありました。しかし、ソフト面は上手く動作して理想の動きができた時は達成感がありました。この賞を受賞することができて良かったです。